

かすかべ未来研究所 （「調査研究事業」成果発表会）



春日部市総合政策部政策課 舟田 由彦

1 目的

かすかべ未来研究所では、市が直面する行政課題や中長期的な課題に対する研究を実施し、事業や施策を提案することで、政策の実現に結び付けることを目的に調査研究事業を実施しています。

また、調査研究にあたっては、総務部人事課との連携により研究テーマに関連する関係課職員の方々、及び公募により参加いただいた職員の方々に参画いただくことにより、実践的な調査研究を通して、政策形成を進める上で必要な技能を修得してもらう人材育成を兼ね備えた事業として実施しています。

2 発表会の概要

かすかべ未来研究所の調査研究は、6月からグループワークや先進地への視察、政策形成アドバイザーである牧瀬稔氏から政策形成能力の向上に向けた講演やアドバイスをいただきながら進めています。

そして、その成果は、市長、副市長、関係部長に対し、11月に中間報告、翌年3月に最終報告を行い、5月には市長、副市長、職員等の前で「調査研究事業」成果発表を行っています。

平成24年度は、4つのグループが「人口増加策の必要性と具体策についての調査研究」、「自治体の広報戦略についての調査研究」、「行政経営の柱である行政評価制度の検証と行政の最適化に関する研究」、「春日部市の現状と課題」を研究テーマとして調査研究を進め、平成25年5月14日（火）に「調査研究事業」成果発表会を行いました。

成果発表会は、70名を超える参加者の前で、各

研究グループの熱い発表が行われました。

発表時間は、1研究グループ20分間とし、各研究グループの発表ごとに、牧瀬稔氏から評価・コメントをいただき、さらに、4研究グループの発表終了後、全体の総括として、市長、副市長から講評をいただきました。



【平成24年度調査研究発表の様子】

3 発表内容の紹介

（1）人口増加策の必要性と具体策についての調査研究

本研究では、人口増加自治体との違いを分析し、住みたいと思わせるには何が必要なのか、本市に不足している部分は何なのか明らかにした上で、その弱点を改善するような施策を提案することを目的に調査研究を行いました。

発表会では、人口増加策の取組みとして、住んでみたいと思わせる情報の発信を目的とした「定住応援サイト」や結婚を機に本市を新居の場所として選んでもらうことを目的とした「出会い応援事業」「新

婚世帯住宅助成」の3つの具体的な事業が提案されました。

(2) 自治体の広報戦略についての調査研究

本研究では、本市全体のイメージや魅力を高め、他自治体と比較して行ってみたい、住んでみたいと思われる「選ばれる市」になるためには、今後の広報活動において、どのような取組みを行っていくことが効果的か、その方向性や解決策について明らかにしていくことを目的に調査研究を行いました。

発表会では、「情報の散在化」「PRの強みが不明確」「職員の意識・スキルがばらばら」などの課題から「専管組織の設置」「戦略指針の策定」「横断組織の整備」などの事業が提案されました。

(3) 行政経営の柱である行政評価制度の検証と行政の最適化に関する研究

本研究では、本市が行ってきた経営手法の柱となる行政評価制度を改めて検証し、その評価結果を経営資源の見直しにうまく活用できるよう、行政の最適化を図るための新たな行政評価制度を提案することを目的に調査研究を行いました。

発表会では、現行の行政評価シートを単純化し、あまり行政評価に関わることが少なかった職員にもわかりやすく、そして、市民にも敬遠されずに見ていただくことができるものとして「グラフ化した新行政評価シート」が提案されました。

(4) 春日部市の現状と課題

本研究では、①本市の現状と課題②本市の強みと弱みの2点を明らかにすることを目的に調査研究を行いました。

発表会では、総合振興計画に掲げた7つの施策目標ごとに収集・分析したデータを、職員・市民と共有しながら活用していくことが提案されました。

発表会の最後に全体の総括として、市長、副市長から講評をいただきました。

副市長からは「他自治体の事例等をもう少し掘り下げて調査できるとさらによかったのではないかな。資料の作り方や職員の発表レベルが、昨年度より上

がってきているので来年度以降にも期待したい。」との講評をいただきました。

市長からは「さらに調査研究を進めていかなければいけない提案もあるが、今後とも、職員一人ひとりがしっかりと勉強して、行政マンとしてのスキルを上げてほしい。」との講評をいただきました。



【平成24年度調査研究チームのメンバー】

4 発表会のその後

広報戦略についての調査研究チームの研究員が、平成25年度から新設されたシティセールス広報課に異動しており、研究員が調査研究の成果を持って担当課に異動し業務を活性化させるという流れができつつあります。また、行政評価制度の調査研究チームが提案した事業についても、関連する関係職員として調査研究に係わった職員が中心となり行政評価制度の見直しにつなげています。

このように、調査研究において提案された成果が、新しい事業として実現されていくことで、調査研究に係わった職員のやる気やモチベーションの向上、ひいては市職員全体の政策形成能力の向上につながるものと考えています。

かすかべ未来研究所の活動内容につきましては、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kasukabe.lg.jp/seisaku/shisei/gaiyou/soshiki/seisaku/seisaku/miraikenkyuu.html>